

和光市地域福祉に関するアンケート調査(関係者)

【調査への協力のお願い】

日頃より、市福祉行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、「地域課題を解決するための 自助・互助・共助・公助を基本とした 地域福祉を推進するまちづくり」を基本理念に、地域福祉の推進に取り組んで参りました。

この度、「第四次和光市地域福祉計画・和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画」の計画期間が今年度をもって終了することから、令和8年度(2026 年度)からの5年を計画期間とした「第五次和光市地域福祉計画・和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画」の策定に取り組んでおります。

本調査では、皆さまのお住まいの地域や「地域福祉」に関する意識や考え方などをお聞きし、計画の策定に向けた貴重な基礎資料として活用させていただきたいと考えております。

なお、ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理され、調査結果から個人が特定されることはなく、また、本市の福祉施策推進および統計の目的のみに使用します。

大変お忙しい中恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願いします。

令和●年(●●●●年)●月

和光市

～ご記入にあたって～

1. ご回答は、質問をよく読んで、あなたの考え方に最も近い番号を選び、その番号に○を付けてください。○の数は、設問によって1つの場合と複数の場合がありますので、設問の最後の【 】内の指示に従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に具体的な内容をご記入ください。
2. 令和●年(●●●●年)●月●●日(●)までに回答してください。
3. お手数ですが、ご記入いただいたこの調査用紙を同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、投函してください。
4. この調査はインターネットでの回答も可能です。パソコン、タブレット、スマートフォンで調査専用画面にアクセスし、画面の指示に従って回答してください。

【URL】
<https://lbnb.f.msgs.jp/webapp/wish/org/showEnquete.do?enqueteid=1&elientid=26401&databaseid=lbnb>



(二次元コード)

【お問い合わせ先】和光市 地域共生推進課
 電話：●●●● FAX：●●●● Email：●●@●●●●

1. 基礎質問

問1 あなたの性別・年齢をお答えください。(それぞれに○)

1. 男性	2. 女性	3. その他	
1. 20歳代以下	3. 40歳代	5. 60歳代	7. 80歳代以上
2. 30歳代	4. 50歳代	6. 70歳代	

問2 現在の担当地域、活動地域を教えてください。(いくつでも○)

1. 和光市全域	2. 和光市外		
1. 白子	4. 南	7. 下新倉	10. 本町
2. 諏訪	5. 西大和団地	8. 丸山台	11. 新倉
3. 諏訪原団地	6. 広沢	9. 中央	

問3 活動を始めたきっかけを教えてください。(主なもの一つに○)

1. 興味があったから	4. 順番等で強制的に
2. 人に勧められたから	5. その他
3. 地域に貢献したかったから	(具体的に:)

問4 活動を続けてきた理由をお答えください。(いくつでも○)

1. 楽しさややりがいを感じられるから	6. 付き合いで
2. 地域の中にニーズがあるから	7. やめにくい雰囲気から
3. 自身の成長に繋がるから	8. なんとなく
4. ほかに人が困るから	9. その他
5. 人の役に立っていると感じられるから	(具体的に:)

問5 活動を継続する上で、課題だと思うことを次の中からお答えください。(3つまで○)

1. 活動に参加する人が少ない
2. 活動に参加する人が固定化している
3. 活動する人の負担が大きい
4. 決まった活動が多く、自分がしたことがやりにくい
5. 「支援する人」から「支援される人」への一方的な活動になりやすい
6. 活動する場所や費用の確保が大変である
7. 活動に関する情報や助言が得にくい
8. 楽しんで活動ができない
9. 的確な対応が難しい事例がある
10. 専門的なアドバイスが得にくい
11. 市民の理解や協力を得るのが難しい
12. 関係機関等とのネットワークの構築が難しい
13. 新たな事業を展開したいが難しい
14. その他（具体的に： _____)
15. 特に問題だと感じることはない
16. わからない

問5 - 1 上記以外で困っていることや、市・専門機関等に支援してほしいことがあればお書きください。(自由記載)

2. 担当地域、活動地域について

問6 担当地域、活動地域において、課題に感じることは何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 挨拶をしない人が多い | 8. 緊急時にどうしたらよいかわからない |
| 2. 近所との交流がない | 9. 治安が悪くなっている |
| 3. 世代間の交流が少ない | 10. 地域から孤立している人がいる |
| 4. 地域の活動が活発でない | 11. 必要な支援に繋がってない人がいる |
| 5. 地域の中で気軽に集まれる場所が少ない | 12. その他 |
| 6. 移動手段が整っていない | (具体的に：) |
| 7. 買い物へ行くのに不便を感じている | 13. 特になし |

問7 担当地域、活動地域の住民は、地域での支え合いや助け合いの活動に関心があると思いますか。
(一つに○)

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度関心がある | 3. あまり関心がない | 4. 全く関心がない |
|-------------|--------------|-------------|------------|

問8 あなたの担当地域、活動地域で次のような世帯を見たり、聞いたりしたことがありますか。(いくつでも○)

- | |
|--|
| 1. 大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯 (ごみ屋敷) |
| 2. 高齢者のみで構成され、主世帯員同士が介護している世帯 (老々介護) |
| 3. 近隣や地域と関わりを持たない世帯 (孤立世帯) |
| 4. 自宅にひきこもっている人がいると思われる世帯 (ひきこもり) |
| 5. 高齢の親がひきこもり状態にある中高年の子どもの生活を支えている世帯 (8050 世帯) |
| 6. 子育てと親の介護を1人で同時に抱えている世帯 (ダブルケア) |
| 7. 未成年の子どもが家族の介護等によって、自分の時間を持てない世帯 (ヤングケアラー) |
| 8. 家族の間で虐待が疑われている世帯 (虐待) |
| 9. 上記以外で、深刻な課題を抱えていると思われる世帯
(具体的に：) |
| 10. 見たり聞いたりしたことはない |

問8 - 1 問8の1～9の項目の世帯を支援したことがありますか。

- | | |
|-------|--------------|
| 1. はい | 2. いいえ →問10へ |
|-------|--------------|

問9 活動している中でどのような困りごとがありますか。(いくつでも○)

- | | |
|---|--|
| 1. 困りごとに対応できる相談支援機関がわからない | |
| 2. 他の相談支援機関との連絡・調整が難しく、スムーズに連携ができていない | |
| 3. 連携して支援を行うにあたって、各相談支援機関等の明確な役割分担ができていない | |
| 4. 本人や世帯が過去に受けていた支援内容や支援していた機関がわからない | |
| 5. 個人情報の取り扱いが難しいため、必要な情報を共有できない | |
| 6. 具体的に何をすればよいかわからない | |
| 7. 支援を拒否される | |
| 8. その他 (具体的に： _____) | |
| 9. 特に困りごとはない | |

問10 近隣と関わりを持たず、何らかの助けが必要と思われる世帯を発見した際、どのように対応しますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 自分で様子を見に行く | 5. 警察に連絡・相談する |
| 2. 近隣住民に連絡・相談する | 6. その他 |
| 3. 自治会役員に連絡・相談する | (具体的に： _____) |
| 4. 市役所に連絡・相談する | 7. わからない |

問11 「ひきこもり」の傾向にある方やご家族等から、相談や情報提供を受けたことがありますか。

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 受けたことがある | 2. 受けたことはない →問12へ |
|-------------|-------------------|

問11-1 相談を受けた際、対応に困ったことがありましたら、お書きください。(自由記載)

3. 地域福祉に関する質問

問 12 地域のために自ら活動しようとする市民（個人）を支援するために、市はどのような取り組みを進めるべきだと思いますか。（2つまで○）

1. 地域で活動する団体や市内で活動している人同士を結びつける仕組みを整える
2. 活動場所の提供
3. 活動資金の援助
4. 地域のために活動するきっかけづくりとなる講座等を実施する
5. 活動の中心的な役割を担う市民を育成するため、専門知識を学ぶ講座等を実施する
6. 活動に資する情報・機会や地域との交流の機会を提供する
7. 活動を希望する市民と人材を求める地域活動団体を結びつける仕組みを整える
8. 活動を継続するために必要な知識を得られる場所を設ける
9. 自主的な活動に対して市が支援する必要はない
10. その他（具体的に： _____)
11. わからない
12. 特にない

問 13 和光市の福祉サービスをより充実していくために、特に重要と考える取り組みは何ですか。（3つまで○）

1. 相談体制や情報提供の充実
2. 利用者の立場や権利を保護・擁護する制度の充実
3. 子どもから高齢者までの健康や介護予防を支援する保健事業の充実
4. 在宅サービスの質と量の確保
5. 施設サービス（保育園や入所施設等）の質と量の確保
6. 成年後見制度や権利擁護事業の必要性や充実
7. ボランティア団体やNPO等の育成・活動支援
8. 市民同士が支え合う仕組みの充実
9. 民間活力の導入による福祉サービスの確保と活性化
10. 市民・関連団体・行政の連携と協働の推進
11. 市民への福祉意識の啓発
12. その他（具体的に： _____)
13. 特にない

問 14 現在の活動（事業）をする上で、協力や連携をしたい団体や組織はありますか。（2つまで○）

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 自治会 | 7. 環境美化・リサイクル、みどりの保全関係の団体 |
| 2. 福祉関係の団体 | 8. 企業、商店（街） |
| 3. 保健・医療関係の団体 | 9. 弁護士・会計士等の専門職 |
| 4. スポーツ関係の団体 | 10. その他（具体的に： _____) |
| 5. 学校関係の団体、PTA等 | 11. 特にない |
| 6. 防災・防犯、交通安全関係の団体 | |

問 15 災害時に地域福祉関係者としてご協力いただけるものはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 安否確認 | 7. 介護や手当て |
| 2. 安全な場所への避難の手助け | 8. 精神的ケア (話を聞く等) |
| 3. 災害状況や避難情報の伝達 | 9. 協力できない、または難しい |
| 4. 家族や親族への連絡 | 10. その他 |
| 5. 生活必需品の確保 | (具体的に:) |
| 6. 一時的な保護 | 11. わからない |

4. 権利擁護支援について

問 16 活動の中でどのような困りごとや相談が多いと感じますか。(3つまで○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 入院・施設への入所のこと | 5. お墓や遺品整理のこと |
| 2. 日常的なお金の管理のこと | 6. 成年後見制度の利用に関すること |
| 3. 福祉サービスの利用のこと | 7. その他 (具体的に:) |
| 4. 相続のこと | 8. そういった相談は受けていない |

問 17 権利擁護支援について、今後どのような取り組みが必要だと感じますか。(2つまで○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 身寄りのない方への入院・入所から終末期までの一貫したサポート |
| 2. 相談や遺言等、終活についての相談窓口の設置 |
| 3. 成年後見制度の普及・啓発に関すること |
| 4. 後見人として活動している方や団体への支援の充実 |
| 5. その他 (具体的に:) |
| 6. 特にない、わからない |

問 18 あなたは権利擁護センターのどのようなことを期待しますか。(2つまで○)

- | |
|--|
| 1. 身寄りのない方への入院・入所から終末期までの一貫したサポート |
| 2. 成年後見制度利用に関する相談を中心に、相続や遺言等、終活についての相談窓口 |
| 3. 地域の関係機関や団体と協力して、定期的な相談会や講演会、勉強会の開催 |
| 4. 親族後見人やその他後見人を担う成年後見制度普及啓発団体への支援の充実 |
| 5. 親族でも専門職でもない後見人として、「市民後見人」の養成と活動を支援 |
| 6. その他 (具体的に:) |

5. 再犯防止について

※再犯防止の推進とは

再犯防止推進事業は、犯罪や非行をした人が再び犯罪に手を染めず、自立した生活を送れるように、生活支援、就労支援、医療支援、地域連携などの包括的な取り組み

問 19 罪を犯した人が更生して地域で生活する場合に必要な支援は何だと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 就労支援 | 6. 民間協力者の活動促進 |
| 2. 住まいの確保支援 | 7. その他 |
| 3. 経済的支援 | (具体的に：) |
| 4. 地域住民の声掛け・関わり | 8. どのような支援が必要かわからない |
| 5. 非行の防止・就学支援 | 9. 特に必要な支援はない |

問 20 非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(一つに○)

- | | | |
|---------------|-----------------|------------|
| 1. 思う | 3. どちらかと言えば思わない | 5. よくわからない |
| 2. どちらかと言えば思う | 4. 思わない | |

問 21 再犯防止のために、和光市は何をするべきだと思いますか。(いくつでも○)

- | |
|--|
| 1. 罪を犯した人を市の機関で雇用する |
| 2. 罪を犯した人に対する支援ネットワーク(病院、学校、福祉施設等の機関や民間団体を構成)を作る |
| 3. 市民に対して、再犯防止について広報・啓発活動する |
| 4. 再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所を支援する |
| 5. 再犯防止に協力する民間協力者に対して、財政的な支援をする |
| 6. 民間協力者に対する研修を充実する |
| 7. 罪を犯した人を支援することに関する市職員の知識向上を図る |
| 8. 罪を犯した人を支援する各種手続きの簡素化・円滑化を図る |
| 9. 罪を犯した人が暮らす住宅を確保する |
| 10. その他(具体的に：) |
| 11. わからない |
| 12. 特にない |

問 22 関わっている活動以外で、日頃、地域で気になることや困っていることはありますか。(自由記載)

--

アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

●月●日(●)までにご返信ください。